アツモリソウ
礼文島にて
柴田　伸治さん

尾張健康友の会 ニュース

発行責任者　尾張健康友の会　会長　上平　安秋
〒491-0815　一宮市千秋町塩尻字山王７－５
☎0586－76－8312　FAX0586－76－9424
ホームページ　http/www.chiaki.com/

2021年１月　NO.392

2020年11月現在　友の会員数 5,208（内社員数899）

インフルエンザ予防接種を受けましょう

一宮市の無料対象者の期限は、1月31日までです。

友の会員、患者さん、利用者さんなど

新春紙上作品展

老健ちあきデイケアのみなさん

千秋支部
多和田　文子さん

尾西支部　名倉　静江さん

西成地域　石田　香澄さん

一宮市　岩田　トシ子さん

あけましておめでとうございます

今年も安心して
くらし続けられる
まちづくりをごいっしょに

コロナと共存する社会の中でも、友の会活動の前進を

尾張健康友の会　会長　上平　安秋

新年あけましておめでとうございます。

２０１９年12月より中国武漢で新型コロナウイルス感染症が発生しました。瞬く間に全世界に拡大し、日本国内にも急速に広がりました。

必要以外の外出を自粛し、日常生活が一変しました。仕事や住まいをなくし、日々の生活にも困る人達が大勢でました。新型コロナの拡大で全国の医療機関や介護施設は経営困難に陥るなか、医療崩壊を防ぐため国の財政支援を求める声が高まりました。しかし政府は世論に耳を傾けず、経済活動優先の政策で新型コロナの拡大は止まりませんでした。

友の会も、健友ネット集会、平和盆おどり、家族健康まつり等の行事を中止しました。平和活動でも、３・１ビキニデー、平和行進、原水禁世界大会など、例年とは変わってオンラインによる開催となりました。

友の会活動は本当に大変でした。多くの制約の中で工夫をしながら、少人数の班会や学習会、会員訪問や生活実態アンケート調査、スタンディング署名などの活動を取り組んできました。

今年も新型コロナと共存する社会で、友の会員や地域住民の皆さんと「きずな」を強めながら「だれもが安心して住み続けられるまちづくり」をめざす活動を進めましょう。尾張健友会の医療と介護を守るために、友の会員と職員の力を発揮し一丸となってこのコロナ禍を乗り越えましょう。皆さんの一層のご協力をお願いして新年の挨拶といたします。

年頭にあたって

尾張健友会　理事長　朝井　哲二

最大の課題は、グループとしてコロナ対策に全力でとりくみ、職員・患者・入所者・利用者・地域住民を守り、クラスターを発生させず事業を継続することです。早期発見の検査、入院受け入れにとりくみます。

千秋病院は、無料低額診療事業を実施しています。職を失ったり、収入が減少し診療が受けられなくなった時は相談してください。又、そのような人がいたら紹介してください。ともにコロナに立ち向かい、この危機を乗り越えましょう。

菅首相は「自助」を第一に主張し、さらに、国民に冷たい政治をしようとしています。コロナ対応は、７割以上の国民が不満を表明しています。後期高齢者医療制度の負担２倍化、介護保険の改悪を画策しています。多くの医療機関は、補填しないと経営破綻する危険があります。千秋病院も今年度は赤字予算です。

「あそこで本を焼いている人がいるが、これは前触れに過ぎない。最後には人間を焼いてしまうだろう」…これはヒトラー、ナチの暴力・ファシズムを警告したハイネの言葉です。学術会議の６人の任命拒否の問題は、学問・科学を政治のしもべにしようとする恐ろしい愚行です。日本が侵略戦争を始める前に行った滝川事件などの学者弾圧・罷免を想起させます。自由にものを言えなくなる危険が迫っています。

今年は、９月までに必ず衆議院選挙があります。自公政権をストップさせ、国民本位の政策を行う野党連合政権を実現しましょう。